

監査結果報告書

令和2年5月28日

社会福祉法人つばさ福祉会

理事長 渡部圭子様

社会福祉法人第40条及び関係法令に基づき実施した令和元年度監査結果について次の通り報告します。

監事 福田光則 

監事 塩野克也 

監査日時	令和2年5月27日（水曜日）13時00分～15時30分
監査場所	社会福祉法人つばさ福祉会 幼保連携型認定こども家
監査実施内容	令和元年度会計期間に係る決算書の関係書類と財産の状況
監査結果	<p>監事の意見</p> <p>1. 決算書の関係書類及び財産の状況</p> <p>決算書の関係書類から資金の収入、支払いを示す（資金収支計算書）、資産の増減を示す（事業活動計算書）、そして法人の財産状況を示す（貸借対照表）、全ての資産と負債を示す（財産目録書）など全ての重要な点において点検を行い、整合性を確認しました。</p> <p>その結果、全ての点で適正な処理がされており、今期は大幅な増益で健全な経営状態である。特に、既存保育園（おひさま保育園）の経営引継ぎを含む東京地区の収益が増加しており、その要因としてテレビ会議の導入により旅費、研修会など経費節減や人材紹介手数料の減少などコスト削減に努められています。そのようなことが奏功し法人の財政を支え健全な運営がされています。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染など危機管理対策として非常時に備えて、ある程度の資金を常時備蓄して置くことが必要と思われれます。</p> <p>3. 入園児に年齢差（バラツキ）があると経営に支障を生じる場合があるので今後の入園に考慮した取組みを要望します。</p>
	指摘事項